

2019年3月27日

集中治療室に、入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 術後ICU入室患者における発熱に影響を及ぼす因子の検討

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 集中治療部 助教 菅原友道

[研究の目的] 手術の後にICUへ入室される患者さんに対して、発熱の原因を調査します。発熱は、術後に患者さんによく見られる症状の一つです。原因は様々なものが考えられますが、見逃してはいけないものの一つに細菌感染が挙げられます。では発熱したときに、必ず細菌感染が起こっているかという、そういうわけではありません。術後の細菌感染は患者さんの生死に関わることがありますから、集中治療医は常に患者さんの体温に気を配っています。この研究では、細菌感染以外のどのようなときに患者さんの体温が上昇するかを調査することで、診療をより良質なものと変えていくことが期待できます。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2015年1月1日から2017年12月31日の間で予定手術後にICUに入室した成人患者さんです。ただし、術前の血液培養検査で結果が陽性の方は対象になりません。

○利用する検体・診療情報

検体：なし

診療情報：年齢、BMI、手術時間 (min)、出血量 (ml)、硬膜外麻酔の有無、人工心肺装置使用の有無、術中輸血の有無、ICU入室後血液培養検査の実施・未実施・陽性・陰性、APACHE II Score、ICU入室後鎮静剤使用の有無、体温

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院集中治療部 担当医師 菅原友道

電話 087-891-2223 FAX 087-891-2224